# 祝!東京オリンピック・パラリンピック開催決定企画

# JRRN 初春の都心の舟めぐり 開催報告

# 2020年の東京の川の話をしよう(船上座談会)





2014.3.15 日本橋船着場

2014.3.15 おしなり公園船着場



日本河川・流域再生ネットワーク 2014年3月20日

# JRRN 初春の都心の舟めぐり 開催報告

## 2020年の東京の川の話をしよう(船上座談会)

## はじめに

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決まりました。

東京都では「2020年の東京」の実現に向けた親水空間の整備が、また国土交通省でもまちと水辺の一体整備に向けた「水辺とまちの未来創造プロジェクト」が始動しています。

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)では、東京の川の未来、水辺の更なる利活用、河川環境保全の大切さなどを考えるきっかけづくりを目的として、2008年から都心河川の観光舟運に携わってきた『江戸東京再発見コンソーシアム(CREW)』の協力を得て、都心を舟でめぐりながら「東京の川の未来」について語り合う船上座談会を企画し、3月の二日間に渡り開催しました。

この開催報告は、東京の川の印象や、更なる魅力溢れる都心の水辺としていくために 2020年に向けて今から私たちができることについて、舟めぐりの参加者とともに語り合っ た内容の一部を、当日の写真も交えて皆様にご紹介するものです。

こうした活動が、東京がかつて水の都であったことへの市民の一層の関心と理解を深め、 都心の川の更なる魅力向上に寄与することを願っております。

2014年3月

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)



日本橋と江戸東京号

## 開催概要

■ 開催日: 2014年3月4日(火)、3月15日(土) ※各日2便、合計4便

■ 参加者: 各便 9 名×4 便=計 36 名(一般より参加申込を受付け、抽選にて決定)

■ 主 催: 日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

■ 共催: 江戸東京再発見コンソーシアム (CREW)

■ 座談会コーディネーター: 3/4 (火) 木村 達司、 3/15 (土) 土屋 信行

■ コース: 乗船時間は両コース共に90分

・コース1(午前便): 神田川コース

日本橋→日本橋川→神田川→隅田川→日本橋川→日本橋



・コース2(午後便): ムサシコース

日本橋→日本橋川→隅田川→小名木川→横十間川→北十間川→おしなり公園



※コース図出典:江戸東京再発見コンソーシアム

# 舟めぐりの様子(舟上での意見や感想)



常磐橋の復旧工事



首都高速に覆われた日本橋川

# 日本橋川からの風景

- ◆ 日本橋川の上空が半分見える(半分は首都高速 が覆っている)だけでも、開放感がある。
- ◆ 天気がいいと川の印象も川から眺める街の印象 も大きく異なる。
- ◆ あまりに殺風景なので、船からの、水辺からの 景色を楽しもうにも楽しめない。目黒川は桜が きれいだし、江東区の河川は並木があったりす るので、例えば沿川に木を植えるなどして風景 をよくすることがまずは必要ではないか。
- ◆ 上空に高速道路がないと開放感があっていいものだ。ただ、頑張って首都高速道路を撤去したとしても、そのありがたさがいつまで持続するだろうか。なぜなら、本来は川の上は空なのが当たり前だから・・・
- ◆ 堤防のギリギリまでビルが張り付いているのが 面白い。
- ◇ カミソリ護岸をなくすことはできないのか。
- ◆ 子供のころ、昭和40 年代に日本橋川を舟で巡ったが、その時の強烈な匂いと汚い水が記憶に残っている。当時に比べれば格段に水環境が改善され、船で巡っていても不快に感じない。水質の改善に特に感動した。



水辺に面した飲食店



首都高速・箱崎出入口付近

# 神田川からの風景

- ◆ 神田川に入ると、一気に空が見えて気持ちがよく開放感を楽しめる。しかし、水辺がきれいに整備されていない、ウォーターフロントになっていないので寂しさを感じる。
- ◆ 水道橋駅から御茶ノ水駅の区間の景色は素晴らしい。特に川から見るローアングルは新鮮だ。
- ◆ 何故、江戸時代にわざわざ大地を切り開いて神田川を掘ったのでしょう。しかも、機械もない時 代にどのようにして短期間で工事を行えたのかとても興味がある。
- ◆ 一つとして同じ橋が無いのが面白い。
- ◆ 丸ノ内線が昔は赤かったが、赤い方が景色に生えるのでは。
- ◆ 緑が無いのが殺風景に感じる。神田川の沿川はほとんどが商業ビルなので、ビルのオーナーと協力して、緑化や植栽などをすればよいのでは。ビルと川の間に植木を置くだけでもだいぶ景色が変わるだろう。
- ◇ 堤防とビルの間に是非とも緑を置いたらよいと思う。
- ◆ 神田川沿川のごちゃごちゃした雑踏も東京らしくてよいものだ。
- ◆ 神田川はやはり殺風景。沿川の街の人達に協力してもらい、水と緑を有効に生かしてほしい。
- ◆ 神田川・仙台堀の植栽が素晴らしい。



川面から眺める地下鉄丸ノ内線



仙台堀付近



旧万世橋駅(mAAch ecute 神田万世橋)



神田川下流部の屋形船

# 隅田川からの風景

- ◆ 日本橋川や神田川と比べ、隅田川は観光に相応 しい景観に整備されている印象を受ける。
- ◆ まち側をもっときれいにしなければ、川からの 楽しみも増えないのではないか。隅田川からの 風景を見ながら、日本橋川や神田川と比較する と、特にそのように感じる。
- ◇ 隅田川の緩傾斜堤防の緑化、植栽は素晴らしい。
- ◇ たくさんの種類の橋を楽しめるのが魅力的。
- ♦ 水辺は生気をもらうことができるとつくづく感じる。



舟に手を振る学生達



隅田川を行く



隅田川沿いの緩傾斜堤防



清洲橋と東京スカイツリー®



小名木川の風景

新小名木川水門に向けて



いよいよ扇橋閘門へ



親水整備が進む小名木川

# 小名木川からの風景

- ♦ 小名木川沿いをみていると、隅田川がよく整備されていることがよくわかる。
- ◆ 親水公園もいいが、もともとある川を生かした整備が行われればなおいいと思う。
- ◆ 沿川に遊歩道を整備して欲しいという願いはあるが、本日参加することで、水位が変わることへの対応など色々解決すべき問題があることを知り、とても勉強になった。
- ◆ 昔の面影を残す風景が少なく、マンションばかりの均一な風景になっているのが残念。
- ◆ 河川沿いに歩けるテラスの整備がまだまだ少ないと思う。

# 横十間川からの風景

- ◆ 護岸の錆が目立ち景色が悪い。外国の川、 例えばクルーズで行けるようなテムズ川や イタリアの水辺等は、護岸も街並みも美し くきれいに感じる。川から見る人に「美し いなあ」と思える整備に期待したい。
- ◆ 護岸の鉄板が老朽化して錆びついていて見 苦しい。一方、木道はぬくもりを感じる。



水辺に整備された木製の散歩道



横十間川を行く



首都高速に覆われたかつての竪川



横十間川の風景



日本橋船着場



ごみ運搬船



扇橋閘門(閘室)

# 舟の利用

- ◆ 自転車で移動するよりも舟で移動した 方が早いなど、舟を利用する機会を増 やさないと舟利用にも活気が出ないと 思う。
- ♦ 船着場は誰が管理しているのか、また 使用の際はどのように申し込んで、利 用料はいくらぐらいなのか興味があ る。
- ◇ パドルボートなどで自由に日本橋川を 漕いでも大丈夫?
- ♦ 川沿いにある標識(舟の航行サイン) に興味を持った。
- ◆ 至る所で見かける「警戒船」がどのよ うな役割を担うのかが気になる。
- ◆ 閘門は無料で通過できると知り驚いた。
- ♦ 閘門を水道水で洗浄するのが面白い。



扇橋閘門内の水位表示



水道橋分水路の出口



神田川下流部に停泊する屋形船

舟めぐりツアー

# 川と観光(1)

## 神田川コース

- ◆ 神田川の分水路は是非中に入ってみたい。
- ◆ 分水路は少し川の臭いにおいを感じるが、中に入って探検したい気分になる。
- ◇ 隅田川だけでなく、今回の様なコースをもっとPRすれば、東京の新たな観光コースとして十分に通用すると思う。
- ♦ 普段見ることのできないアングルであちこちを見ることができるのが魅力的。
- ♦ 舟で巡ると、バックステージツアーという感じで面白い。
- ♦ 街づくりと川の付き合い方を考えさせられる貴重な機会になった。水面近くから川や街をみるのは素晴らしい。
- ♦ 舟からのアングルが新鮮で、構造物の裏側や都会の中にも小さな自然を発見できて面白かった。
- ◆ 東京が実は水の都であったことを知り驚いた。
- ◆ 普段、東京の水辺を歩いているだけではなかなか感じられない、川の中からまちを見ることができ、違う視点で都市を望めて新鮮だった。

# 川と観光 (2)

## ムサシコース

- ◆ 日本橋に魚河岸があった話など、歴史を交えた話をもっとすれば、より魅力的なツアーになるのではと思う。また、東武鉄道と連携して、スカイツリーとセットのツアーにして、下船後にスカイツリーに登れるようなツアーもいいのではないか。
- ◆ 埋められてしまった川の名残が見えて面白い。
- ♦ 20年~30年前には、荒川や隅田川にタンカーなどが 航行し、自分の船着場で荷揚げをしていたシーンを思 い出す。しかし現在はほとんどがマンションに代わっ ていて驚いた。観光という視点では、このコースはマ ンションばかり見ている感じだ。
- ◆ 東京に住んでいながら初めての江戸の川・橋めぐりと なり、江戸の成り立ちの話も大変興味深かった。



北十間川からの眺め



水路の交差点



北十間川の風景

# 川と防災

- ♦ 昔に日本橋川沿いで川が溢れたことを思い出す。今でも神田川上流の善福寺川では洪水警報のサイレンが鳴り響くことがある。
- ♦ 分水路がどこへ流れていくのかが気になる。このまま海に繋がっているのか。
- ◆ 道路の下に分水路の様な施設があることに驚いた。
- ◆ 宝田橋防災船着場などで、舟に対する防災船着場の案内表示をすべきではと感じる。
- ◇ 防災船着場はどのような船が利用することを想定して誰が設置したのか興味がある。
- ◆ 川の浚渫はどのぐらいの頻度で行っているのか知りたい。
- ◇ 水門の役割を知らなかった。
- ♦ 東京に大震災が起きた時に川をもっと利活用できればよいと思う。
- ◆ 津波が来てもすぐに下船できる船着場がもっとあれば安心して乗ることができると思う。



新小名木川水門



宝田橋防災船着場



和泉橋防災船着場



江戸城石垣



# 東京の川の未来(1)

- ◆ 江戸の町についてとても興味を持った。2020年までの東京の開発が気になる。
- ◆ 2020 年の東京の河川の未来像に期待したい。
- ◆ 7年前に韓国の清渓川を見に行った。2020年に向けて、日本橋川も青空を取り戻して欲しい。
- ◆ 日本橋川に青空を取り戻す運動に参加していきたいと思う。
- ◆ 大深度地下道に移して高速道路を撤去するとよい。
- ◆ 日本橋川という特徴のある都市の川をもっと身近に利用したい。
- ♦ 神田川をもっと整備して遊覧できるようにしたらよい。
- ♦ 川の水をもっときれいにすることはできないのでしょうか。具体的な計画はないのでしょうか。
- ♦ 沿川にマンションばかり、しかも川に背を向けているのがもったいないが、そうした現状をみることができてよかった。植栽があったり、ジョギングコースやサイクリングコースが整備されるといいのだが。

# 東京の川の未来(2)

- ♦ もっと水面に近いところで川と付き合えるようにしていきたい。
- ♦ 川辺の植生を豊かにしたいし、"かわてらす" をもっと展開して欲しい。
- ♦ サイクリングコース・ジョギングコースの整備に期待する。
- ♦ 水の都 "東京" の一端を見ることができた。 本当の水の都を再生して欲しい。
- ♦ もっと川に近づけたらいいと思う。堤防が刑務所の壁のようにそそり立っているのが悲しく感じた。
- ♦ 川の目線に近づける機会がもっと増えれば、 川をきれいにしようという意識が根付きやす くなるのでと思う。
- ◆ 川沿いに遊歩道が整備されると嬉しい。



水辺のレストラン(神田川)



賑わう水上交通(隅田川)



親水整備(小名木川)

## 舟めぐりを終えて・・・

- ◆ また乗船してみたいと思いました。ガイドさんの語りがすごくよかったです。
- ♦ 川の事、町の事、橋の事、たのしかったです。ありがとうございます。
- ◇ 歴史的、技術的なことが興味深かった。
- ◇ 光や音に敏感になる時間。素晴らしい体験でした。
- ♦ 視点が変わり、面白い旅でした。東京生まれですが、東京も広くて知らないことがいっぱい。また是非参加したいです。
- ◆ 初めてこうした舟めぐりに参加したが、ガイドのお話が面白く、もっと長く乗船していた かった。さらに大きな川もガイド付きで見てみたい気がする。
- ◇川は素晴らしい。ありがとうございました。また機会があればご案内ください。
- ◆ 少し時間に余裕を持ち(15 分~20 分)、感想などを交換すると記念になると思います。
- ◆ 天気が良かったので大変良かった。ありがとうございました。
- ◇ 説明が丁寧でよくわかりました。
- ◆ 満足しました。次回は別の舟めぐりコースも参加したいと思います。
- ◆ この舟は少人数であり、静かでいい舟めぐりだと思います。また仲間と参加します。
- ◇ コーディネーターが博識でとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ◆ 6年後のオリンピックに向けて、これから色々と変わっていくと思いますが、変わる前の 姿を見ることができてとてもよかったです。ありがとうございました。
- ◇ もっといろいろなコースを体験してみたいと思いました。とても満足できました。
- ♦ コーディネーターのお話がとても楽しかったです。また機会があれば参加させて頂きます。ありがとうございました。
- ♦ とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ◆ 日本橋からスカイツリーまでの江戸の水路の風景をコーディネーターの解説と楽しく過ご させて頂きました。
- ♦ 船長、企画していただいた方、皆様の協力で素敵な時間を過ごすことができたことに感謝しています。また違う企画も楽しみにしています。



舟めぐり受付



日本橋船着場にて



救命胴衣の着用



コーディネーターによる解説



古地図とルート図



安全・快適運航でお世話になった船長

## 参加者募集チラシ(表面)



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 江戸東京再発見コンソーシアム 共催



祝!東京オリンピック・パラリンピック開催決定企画

# 初春の都心の舟めぐり



~2020年の東京の川の話をしよう(船上座談会)~



2020 年の東京オリンピック・バラリンピック開催が決まりました。

東京都では「2020年の東京」の実現に向けた親水空間の整備が、また国土交通省でもまちと水辺の一体整備に向けた「水辺とまちの未来創造プロジェクト」が始動しています。

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)では、2008年から都心河川の観光舟運に携わってきた『江戸東京再発見コンソーシアム』の協力を得て、都心を舟でめぐりながら「東京の川の未来」について語り合う船上座談会を企画しました。

更なる魅力溢れる都心の水辺としていくために、2020年に向けて今から私たちができること について一緒に考えてみませんか?

なお、船上で交わされた皆様の貴重なご意見は、後日、(匿名にて)JRRN ホームページを通じてもご紹介させて頂〈予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

コース1

神田川コース

(乗船時間: 1時間30分)

東京の歴史と文化を育んできた日本橋川・神 田川・隅田川の歴史と自然をめぐります。

■開催日:

2014年3月4日(火),3月15日(土)

■ルート: 日本橋船着場→日本橋川→

神田川→隅田川→ 日本橋船着場

■集合場所: 日本橋船着場 (9:45 厳守)

■解散場所: 日本橋船着場 (11:30)

コース2

634(ムサシ)コース

(乗船時間: 1時間30分)

お江戸日本橋から易橋閘門を経て東京スカイツリー®へ、新旧の江戸東京をめぐります。

■開催日

2014年3月4日(火),3月15日(土)

■ルート: 日本橋船着場→日本橋川→

隅田川→小名木川→横十間川→

北十間川→おしなり公園船着場

■集合場所: 日本橋船着場 (12:15 厳守)

■解散場所: おしなり公園船着場(14:00)

✓ 募集人員: 各便 9 名 (合計 36 名)

✓ 参加費: 無料ご招待

✓ 申込方法: 裏面参照(申込多数の場合は抽選)

✓ 申込締切: 2014年2月14日(金)

申込方法等の詳細は裏面をご覧下さい

#### ■ この件に関するお問い合わせ

日本河川·流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 (担当:後藤·和田)

〒104-0033 東京都中央区新川 1-17-24 新川中央ビル7階 (公財)リバーフロント研究所内

E-mail: info@a-rr.net Tel: 03-6228-3862 Fax: 03-3523-0640

# 参加者募集チラシ(裏面)

## 申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX または Eメール でお申し込みください。 (メールでのお申込みの場合は、メール内に必要事項を記入の上でお申込み(ださい)

- ■募集人員: 中学生以上の一般の方を各便 9 名 **合計 36 名**(9 名×4 便)
- ■参加費: 無料ご招待
- ■申込受付期間: 2014年1月24日(金) ~ 2月14日(金)17:00 ※募集人員を超えるお申込みを頂いた場合、申込受付終了後、抽選により参加者を決定させて頂きます。 ※同時に2名まで応募可能です。
- ■申込先:日本河川·流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 (担当:後藤·和田)
- ■参加決定連絡: 2月18日(火)までにFAX 又はEメールでご連絡を差し上げます。

#### 初春の都心の舟めぐり(船上座談会) 参加申込書

※FAX 番号: 03-3523-0640 Eメールアドレス: info@a-rr.net

ふりがな			
代表者氏名			
所属 (勤務先·学校等)			
代表者連絡先	住所	Ŧ	
	電話		FAX
	メールアドレス		
希望日・コース	※下記のいずれかの希望日・コースに○をご記入ください ①3/4(火)・神田川 ②3/4(火)・ムサシ ③3/15(土)・神田川 ④3/15(土)・ムサシ		
参加希望人数	※代表者を含む2名まで同時に応募可能 代表者を含め人		
会員	※いずれかに ○ をご記入〈ださい JRRN 会員 / 非会員		

※参加申込書に記載頂いた個人情報は、主催者が開催する行事等のご案内に利用させて頂く場合がございます。

### 日本河川·流域再生ネットワーク(JRRN) とは?

河川再生について共に考え、次の 行動へ後押しする未来志向の情報を 交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技 術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団 体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本 窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外 の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。

JRRN 会員登録は無料です。詳しくは以下をご覧ください。

■ホームページ: http://www.a-rr.net/jp/

Facebook: https://www.facebook.com/JapanRRN

#### 江戸東京再発見コンソーシアム とは?



東京都心のユニークな賑わいの創 出を目的として2008年に日本橋の企 業を中心に結成されました。電気ボー トを利用した観光舟運や、ビルの谷間 に点在する名所や老舗や企業を案

内する街めぐりなどを実施しています。2008年から3年間にわ たり、中央区の協力を得て防災船着場を活用した社会実験 として観光舟運事業「お江戸日本橋舟めぐり」を展開。2011 年4月以降は日本橋船着場を拠点に活動しています。

■ホームページ: http://www.edo-tokyo.info/

# JRRN 初春の都心の舟めぐり 開催報告 | 2014/03/20

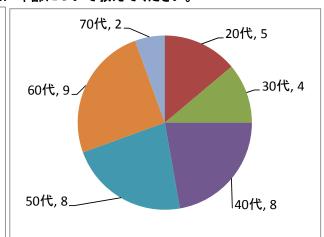
# 参加者アンケート結果

参加者にご回答頂いたアンケートの結果は以下の通りです。

## 1. JRRN会員・非会員について



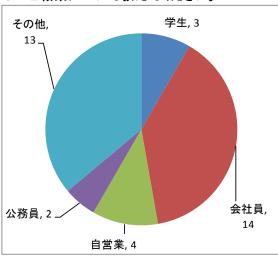
2. 年齢について教えてください。



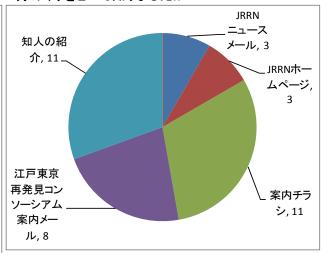
## 3. ご職業について教えてください。

JRRN非会

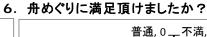
員,32

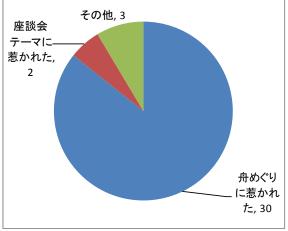


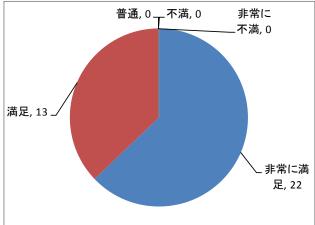
4. 舟めぐりをどこで知りましたか?



## 5. 舟めぐりの参加理由を教えてください









## JRRN 初春の都心の舟めぐり 開催報告

~ 2020年の東京の川の話をしよう(船上座談会)

2014年3月20日

【発行】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 公益財団法人リバーフロント研究所 内

電話:03-6228-3860 Fax: 03-3523-0640

E-mail: <u>info@a-rr.net</u>

URL: <a href="http://www.a-rr.net/jp/">http://www.a-rr.net/jp/</a>

Facebook: <a href="https://www.facebook.com/JapanRRN">https://www.facebook.com/JapanRRN</a>

JRRN 事務局は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

₩ 公益財団法人 リバーフロント研究所 (丁斷建設技術研究所

国土文化研究所